

GDS 特別講演会

グローバルデンタルシステム主宰：松本勝利先生

九州

2013年9月22日(日)

- GDS クラブ会員 AM10:00 ~ PM4:00
- 一般参加 AM11:00 ~ PM4:00
※会員外の歯科医師様・スタッフ様は AM11:00 からになります。
- 会場 : (株)UK デンタル熊本店 2F UK ホール
熊本市南区流通団地 1 丁目 68 番地
- 受講料 : GDS クラブ会員 4,000 円
(昼食費込) 会員外歯科医師様 6,000 円
クラブ会員スタッフ様 2,000 円
会員外勤務スタッフ様 3,000 円

【スケジュール】

- AM10:00~AM10:30 GDS クラブ総会
GDS 認定医・認定ラボ授与式
- AM11:00~PM12:20 会員発表 鈴木 宏樹 先生(篠栗病院歯科勤務)
『喜ばれる総義歯への取り組み』

特別講演

- PM 1:00~PM 4:00 今井 一彰 先生(みらいクリニック院長)
『口呼吸と全身疾患の関わりについて』
~Keyword : 口呼吸 病巣疾患 ペリオ~

TEL 096-377-2555 FAX 096-377-2554

フリガナ お名前	貴歯科医院・貴技工所名	
ご住所 〒	GDS クラブ会員	一般参加
TEL	FAX	

※ご提供頂きました情報は目的以外の用途には使用致しません。また漏洩の無い様取扱いには厳重に注意致します。

◆今井 一彰 先生 『口呼吸と全身疾患の関わりについて』
 ~Keyword : 口呼吸 病巣疾患 ペリオ~

口腔内は病悩者の生活を垣間見ることのできる窓である、というのは、歯科医療従事者にとって衆知のことであるが、一般には意外と知られていない。

私が慢性病の診察をするときの診察の際には、必ず口腔内の状況を確認する。難治性の慢性病の患者は、歯科治療痕が多く、口蓋が高いという共通の問題に突き当たる。このような患者は、必ずと言っていいほど鼻づまりや鼻炎といった耳鼻科的問題も抱えている。慢性病の結果、歯科治療が多くなったり、耳鼻科通いが始まったりしたのか、歯や鼻を悪くする体の土壌があつて、それが慢性病につながったのかと考えると、おそらく口や鼻の不調が、それに引き続く大きな疾患となって最終的に現れてきたのであろう。

なぜこの様な状態になるかという、慢性口呼吸を引き起こしてしまうからというのが答えであろうと思われる。

一口に口呼吸といっても、はっきりとしないために、ここで口呼吸の定義について考えてみる。人体の呼吸には、二種類あり、細胞内呼吸と細胞外呼吸に分けられるが、鼻呼吸や口呼吸は細胞外呼吸で、肺呼吸である。肺呼吸とは、呼気吸気ともに鼻から行われるべきものですが、それを口で代償して行う状態を口呼吸と定義する。さらに、呼気吸気のどちらかが口で行われるだけでなく、習慣性開口状態による口腔粘膜乾燥も口呼吸によっておこる状態も同じである。それらが矯正されるだけで改善する疾患は多岐にわたる。

口呼吸は、乾燥、冷えを引き起こし、口腔内に微小慢性感染症を引き起こす。たとえば歯周炎、ペリオ、齲蝕などである。これらが病巣疾患の原病巣となり、全身病を引き起こすのである。よって、歯性病巣疾患治療の第一歩は、口を閉じて鼻呼吸を促すことである。この口唇閉鎖がきちんと行えるのかどうかは、将来の疾病発症のリスクと大きく関係する。

ただ、もちろん歯牙や口腔も重要であるが、ややもすると、歯科医療は、口腔一辺倒になってしまいがちではないだろうか。口腔から身体を見ることが、身体から口腔を見ることが同じ診療であり、一方的な見方に偏ることなく、多角的多面的に見ることが出来るよう、ともに切磋琢磨しあえる医科歯科連携を築くことが新しい時代であると考えられる。



<略歴・資格>

’95 山口大学医学部卒業 同大学救急医学講座入局
 その後、福岡徳洲会病院、飯塚病院、山口大学附属病院総合診療、その他関連病院を経て、
 ’06年福岡市にみらいクリニックを開業。

- ・日本東洋医学会認定漢方専門医
- ・加圧トレーニング統括指導者

<主な著書>

- ・免疫を高める口の体操「あいうべ」(マキノ出版)
- ・薬を使わずにリウマチを治す5つのステップ(コスモの本)
- ・口を閉じれば病気になる(家の光協会)
- ・正しく鼻呼吸すれば病気になる(kawade 夢文庫) など著書多数

◆鈴木 宏樹 先生 『喜ばれる総義歯への取り組み』

日本は2007年に超高齢社会をむかえました。それに伴い、要支援・要介護者の数も増加しています。そんな中、『最期まで自分の口で食事を楽しみたい』という希望を持たれている方は、決して少なくありません。当院ではその要望に対し、従来より様々な取り組みを行ってきました。中でも、GDSデンチャーの手法は特に効果が高いと感じています。実際、『噛めない義歯』を、『噛める義歯』に変えることで、食事の楽しみを思い出し、元気を取り戻していく方が多数いらっしゃいます。そして、その際に頂く喜びの言葉が、日々の糧になっております。今回は、まだまだ稚拙ではありますが、そういった総義歯の症例を発表させていただき、当院の取り組みと併せて紹介させていただきます。

●ご不明な点がございましたら下記事務局までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◆◆◆GDSクラブ九州事務局◆◆◆ TEL096-377-2555 (UK デンタル企画室 吉田迄)